

現代政策学部 堤琴覇

私は、水田三喜男記念奨学生として、ハンガリーにあるブダペスト商科大学（BBS）の国際グローバル研修に参加した。約2週間ハンガリーで生活していく中で、BBSの学生との交流やハンガリーの文化に触れ、貴重な体験をすることができた。

私がこの研修に参加した理由は、大学1年の頃からBBSへ交換留学をしたいと考えていたからだ。自分が行きたいと考えている場所へ短期研修があることを知り、強くなってみたいという気持ちになった。



ハンガリーに到着してからは全てが驚きの連続だった。建物はどれもとても綺麗で、どこを見渡しても写真映えするヨーロッパの景色が広がる。毎日、外に出るだけで楽しかった。そして、ハンガリーの食べ物はどれも美味しかったけれど、揚げ物が多すぎて、たったの2週間ではあったが、日本食が恋しくなった。ハンガリーに来たことで、当たり前だと思っていた日本の食べ物の美味しさに改めて気づくこともできた。



BBSの学生たちの学習への意欲に、本当に感銘を受けた。研修の中でICT化に力を入れた大学・企業に訪問し、話を聞いてきたが、私たち日本人学生が質問する内容を探っていたり、躊躇っていたりするとき、真っ先にBBSの学生が質問をしているのを見て、自分も疑問に思ったことを躊躇わず率直に聞くことができるような精神を持ちたいと感じた。また、BBSの学生はとてもフレンドリーで面白くて優しい人たちばかりだった。自分の拙い英語でも最後まで聞いてくれたり、毎朝ホテルまで迎えに来てくれたり、家がホテルから1時間以上かかるのにも関わらず、夜まで付きっきりで一緒にいてくれたり、もしBBSの学生がいなかったら毎日楽しく過ごすことはできなかったと思う。

そして自分の中の一つの目標として、英語を積極的に話すことを目標としていた。結果、約2週間でBBSの学生とほとんどの会話において英語で話すことができた。BBSの

学生が、私や今回参加したメンバーの英語力が今までの学生よりも高いと褒めてくれたことがとても嬉しい思い出だ。自分が思っている以上に学生が話す英語や英語での授業内容を理解することができた一方で、自分が言いたいことを話せない場面がとても多くその度に悔しい気持ちになった。



実際にハンガリーへ行って見て、より留学したいという気持ちが増して、来年の春学期が終了するまでに交換留学の条件に満たせるように努力することを強く心に決めた。

そんな思いにさせてくれて、手厚く協力してくださった先生方、大学に心から感謝したい。